

西予・三瓶スポーツクラブ

地元出身選手ら
アドバイザーに

西予市三瓶町の総合型地域スポーツクラブ「三瓶スポーツクラブ」(久保田幸一会長)が、地元出身のスポーツ選手や指導者5人を「ふるさとトップアドバイザー」に認定し、帰省時に子ども向けスポーツ教室を開いてもらう取り組みを始めた。

地域挙げて応援▷◁オフに子ども指導



三瓶スポーツクラブの「ふるさとトップアドバイザー」として地元の小学生に指導する堀内久雄選手(左)

29日、西予市三瓶町野球場

第1弾は野球教室

ふるさとトップアドバイザーは、スポーツ界で活躍する地元出身者を地域全体で応援するとともに、古里のスポーツ振興に「投資」してもらおうと、同クラブが独自で企画。現在、元卓球世界王者でソウル五輪に出場した小野誠造さん(ヤマト卓球)▽プロ野球千葉ロッテマリーンズの堀内久雄さん▽中野将吾選手(大塚製薬)▽陸上競技長距離の山下郁代選手(三井住友海上)▽元リーグカンパ大飯コーチの二宮博さん(カンパ大飯育成

者でソウル五輪に出場した小野誠造さん(ヤマト卓球)▽プロ野球千葉ロッテマリーンズの堀内久雄さん▽中野将吾選手(大塚製薬)▽陸上競技長距離の山下郁代選手(三井住友海上)▽元リーグカンパ大飯コーチの二宮博さん(カンパ大飯育成

普及本部グループマネージャー)の5人を認定している。

久保田会長(右)は「三瓶は過疎化が進む小さなまちだが、多くのスポーツ選手を輩出している。明るく楽しく学びながらスポーツを通じて地域活性化を目指して行、トップレベルの同郷の先輩との交流は子どもたちの励みになると信じます。26日には第1弾として、堀内選手が同市三瓶町津布里の三瓶中学校グラウンドで里帰りスポーツ教室を開催。小学生約60人に「投げる、打つ、走る、守る」という野球の基本動作を指導した。子どもたちは、しっかりと腰を落としたゴロの捕球姿勢や正しいスイングの仕方などを教わり、実際に捕球やバッティング練習を行った。最後は堀内選手のバッティングを見学、打球の速さや飛距離に驚き、プロのすごさを実感していた。

三瓶スポーツクラブは今年4月設立。会員は現在約100人で、幼児から高齢者まで参加できる8種目9教室を開いている。



愛媛新聞社

掲載許可番号 G20091201-00443